

安全保障理事会決議 1975 (2011)

2011年3月30日、安全保障理事会第6508回会合にて採択

安全保障理事会は、

コートジボワールの情勢に関する、安保理の従前の諸決議、とりわけ決議1572(2004)、1893(2009)、1911(2010)、1924(2010)、1933(2010)、1942(2010)、1946(2010)、1951(2010)、1962(2010)、1967(2011)、1968(2011)および安保理議長声明並びにリベリアの情勢に関する決議1938(2010)を想起し、

コートジボワールの主権、独立、領土保全および統一に対する安保理の強い支持を再確認し、また、善隣、不干渉および地域協力の原則の重要性を想起し、

コートジボワールにおける選挙後の危機が平和的に解決されまた民主主義と平和を維持しコートジボワール人内の永続的和解を促進する包括的な政治的解決を要求するという安保理の強い要望をくり返し表明し、

コートジボワールにおける危機の解決のためのアフリカ連合ハイレベルパネルの建設的な取組を賞賛し、また、コートジボワールにおける危機を解決するためのアフリカ連合と西アフリカ諸国経済共同体(ECOWAS)の関与について彼らに対する安保理の支持をくり返し表明し、

アジスアベバで2011年3月10日に開催された、国家元首および政府の長レベルのアフリカ連合平和安全保障理事会第265回会合で採択された、2010年11月28日の大統領選挙の二回目の投票以来コートジボワールが直面している急速に悪化している選挙後の危機に関する同理事会の従前の全ての決定を再確認し、コートジボワール共和国の大統領としてアラサン・ドラマヌ・ウワタラ氏の当選を承認している、同理事会の決定を歓迎し、

政治的発案をまた2011年3月24日のECOWAS首脳会議により採択されたコートジボワールに関するコミュニケおよび決議に留意しつつ歓迎し、

コートジボワールにおける最近の暴力の拡大および内戦へ再び陥ることの危険について深刻な懸念を表明しまた全ての当事者に対し、そのような結果を防ぐためまたその相違を平和的に解決するため最大限の自制を示すことを促し、

あらゆる当事者により行われた、差別、敵対行動、憎悪および暴力に対する扇動を構成する全ての挑発的な行動および声明を明白に非難し、

人道法、人権法および難民法を含むコートジボワールにおける国際法の重大な侵害および違反を非難し、文民を保護する各国の主要な責任を再確認し、また、武力紛争の当事者が文民の保護を確保した

人道支援の迅速且つ支障のない通過並びに人道支援要員の安全を促進するため全ての実行可能な措置を講じる主要な責任を負っていることをくり返し表明し、女性、平和および安全に関する安保理決議 1325 (2000)、1820 (2008)、1888 (2009) および 1889 (2009)、子どもと武力紛争に関する安保理決議 1612 (2005) および 1882 (2009) 並びに武力紛争下の文民の保護に関する安保理決議 1674 (2006) および 1894 (2009) を想起し、

2010年11月28日の大統領選挙後のコートジボワールで犯された人権の重大な侵害および違反の申立を巡る事実および状況を調査する独立国際審査委員会を派遣する決定を含む、2011年3月25日の人権理事会決議 A/HRC/16/25 を歓迎し、

その支配下の軍によるものを含むそのような侵害および違反に対し責任を有する者は、責任を問われなければならないことを強調し、

全ての人権および基本的自由を促進し且つ保護し、申し立てられた人権侵害および国際法違反を調査しましたそのような行為に対し責任を有するものを訴追することはコートジボワールの責任であることを再確認し、

一般国民に対しコートジボワールで現在行われている攻撃は、人道に対する罪と同然でありうることもまた、国際刑事裁判所が、ローマ規程の第12条3項に基づいてコートジボワールの情勢についてその管轄権を決定できることに留意しつつ、そのような罪を犯した者は国際法の下で責任を問われなければならないことを考慮し

コートジボワールにおける事態が国際の平和および安全に対する脅威を構成することを認定し、

国際連合憲章第7章にもとづいて行動して、

1. 全てのコートジボワールの当事者およびその他の利害関係者に対し、国民の意思および ECOWAS、アフリカ連合並びに国際社会の残りの部分により承認された、コートジボワールの大統領としてのアラサン・ドラマヌ・ウワタラの当選を尊重することを促し、最近の暴力の拡大に安保理の懸念を表明しました女性、子どもおよび国内避難民を含む、文民に対する暴力をすぐに終わらせることを要求する。
2. 全ての当事者に対し、アフリカ連合の包括的な政治的解決を進めることを求め、またこれに関連して、包括的な政治的解決の履行のための上級代表を任命した全ての当事者に対し、彼と十分に協力することを求める3月10日のアフリカ連合平和安全保障理事会首脳会議の決定を歓迎する。
3. アフリカ連合により任命されたハイレベルパネルにより提案された包括的な政治的解決を受け入れないというローラン・バグボ氏の決定を非難し、また彼にすぐに譲歩することを促す。
4. コートジボワールの防衛および治安部隊 (FDSCI)を含む、全てのコートジボワールの国家機関に対し、コートジボワール国民によりアラサン・ドラマヌ・ウワタラ大統領に与えられた権威に従うこ

とを促し、攻撃、脅威、妨害行為および国際連合要員に対して、彼らが文民を保護すること、人権の違反および侵害の調査を監視しまた援助することを妨害しつつ、FDSCI、民兵並びに傭兵により行われた暴力を非難し、国際法の下でそのような犯罪に責任を有する者は責任を問われなければならないことを強調しまた全ての当事者、とりわけローラン・バグボ氏の支持者および軍に対し、国際連合コートジボワール活動（UNOCI）と十分に協力することおよびその職務権限の履行における UNOCI の活動を妨害することを止めることを求める。

5. 女性、子ども、国内避難民および外国国民を含む、文民に対して行われた全ての暴力および人権の他の違反および侵害、とりわけ強制失踪、裁判手続によらない殺害、子どもの殺害並びに不具にすることおよびレイプ並びの性的暴力のその他の形態についての安保理の確固たる非難をくり返し表明する。
6. 安保理の承認を想起しまたその職務権限を公平に履行しながら、一般国民に対して重火器の使用を防止することを含む、その能力と展開の範囲内で、肉体的暴力の差し迫った脅威の下で文民を保護するその職務権限を実行する全ての必要な手段を用いるために、UNOCI に与えた安保理の完全な支持を強調し、また、事務総長に対し、これに関連して取られた措置および行われた取組について、緊急に報告することを要請する。
7. 全ての当事者に対し、とりわけ UNOCI およびそれを支援するフランス軍の安全およびコートジボワール全領域での妨害のない且つ即時のアクセスで移動の自由を保証することにより、彼らの職務権限を十分に実行することを彼らに可能にするため、彼らの活動に十分に協力することを求める。
8. 全ての当事者に対し、2010年11月28日の大統領選挙後のコートジボワールで犯された人権の重大な侵害および違反の申立を巡る事実および状況を調査するため2011年3月25日に人権理事会により設置された独立国際審査委員会に、十分に協力することを求め、また事務総長に対し、安全保障理事会およびその他の関連国際機関にこの報告書を送ることを要請する。
9. UNOCI に対するものを含む、差別、敵意、憎悪および暴力を扇動するためのコートジボワール国営放送局 (RTD) およびその他のメディアの使用並びにジャーナリストに対する脅迫と暴力の行為を非難し、また、コートジボワールにおける表現の自由の権利行使に関して設けられた全ての規制を撤廃することを求める。
10. コートジボワールにおける危機を原因とする、国内避難民および特にリビアにおけるコートジボワール難民の増加しつつある数に深い懸念を表明し、また全てのコートジボワールの当事者に対し、難民および国内避難民に対する人道支援へのアクセスを高めるために活動している国際連合機関およびその他の関係者と十分に協力することを求める。
11. ローラン・バグボ氏が遅滞なくゴルフホテルの包囲を解除するという安保理の長期の要求をくり返し表明する。

12. コートジボワールにおける平和と和解を妨害する個人、UNOCI およびコートジボワールにおけるその他の国際関係者の活動を妨害する個人並びに人権および国際人道法の重大な違反を犯す個人を含む、決議 1572 (2004) およびその後の諸決議に定められた条件を満たす個人に対する対象を特定した制裁を採択することを決定し、またそれ故、本決議の添付資料 I に記載された個人は、決議 1572 (2004) の第 9 から 11 項により課された財政的および渡航的措置に従うものとするを決定し、また、適当な場合には、公然と憎悪および暴力を扇動することによるを含む、関連する制裁条件を満たすメディア関係者に対する対象を特定した制裁を含む、更なる措置を考慮する安保理の意図を再確認する。

13. この問題に引き続き積極的に取り組むことを決定する。

Annex I

Targeted sanctions

1. Laurent Gbagbo

Date of birth: 31 May 1945

Place of birth: Gagnoa, Côte d'Ivoire

Former President of Côte d'Ivoire: obstruction of the peace and reconciliation process, rejection of the results of the presidential election.

2. Simone Gbagbo

Date of birth: 20 June 1949

Place of birth: Moossou, Grand-Bassam, Côte d'Ivoire

Chairperson of the Parliamentary Group of the Ivorian Popular Front (FPI): obstruction of the peace and reconciliation process, public incitement to hatred and violence.

3. Désiré Tagro

Passport number: PD – AE 065FH08

Date of birth: 27 January 1959

Place of birth: Issia, Côte d'Ivoire

Secretary-General in the so-called “presidency” of Mr. Gbagbo: participation in the illegitimate government of Mr. Gbagbo, obstruction of the peace and reconciliation process, rejection of the results of the presidential election, participation in violent repressions of popular movements.

4. Pascal Affi N'Guessan

Passport number: PD-AE 09DD00013.

Date of birth: 1 January 1953

Place of birth: Bouadriko, Côte d'Ivoire

Chairman of the Ivorian Popular Front (FPI): obstruction of the peace and reconciliation process, incitement to hatred and violence.

5. Alcide Djédjé

Date of birth: 20 October 1956

Place of birth: Abidjan, Côte d'Ivoire

Close advisor to Mr. Gbagbo: participation in the illegitimate government of Mr. Gbagbo, obstruction of the peace and reconciliation process, public incitement to hatred and violence.